

AEON

株主のみなさまへ

2018

2月期 中間報告書

2017.3.1-2017.8.31



イオンモール株式会社
証券コード:8905

イオンモール新小松(石川県 2017年3月オープン)



イオンモール徳島(徳島県 2017年4月オープン)



新たな理念のもと 次なる成長ステージへ

代表取締役社長

吉田昭夫

Akio Yoshida



2018年2月期(2017年度)中間報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援、ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。

当社は新たな中期経営計画(2017~2019年度)を策定し、収益力強化と成長スピードの加速化に取り組んでいます。初年度となる2017年度の中間期業績は、営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも増収増益を達成し、過去最高となりました。

海外事業では、既存店ベースの専門店売上が引き続き2桁成長を続けており、利益改善のスピードが加速して黒字化への道筋が見えてきました。下期には、9月30日にインドネシア2号店となるイオンモール ジャカルタ ガーデンシティをオープンし、好調なスタートを切っています。また、中国では下期に4モールをオープンします。海外事業は、今後の当社の成長ドライバーであり、引き続き中国・アセアンにおいて積極的に事業展開を進めていきます。

国内事業では、既存モールの増床・リニューアル等の効果もあり集客力が向上し、既存店ベースの来店客数が対前年同期比101.9%、専門店売上が同103.4%と伸ばしました。新規モールは9月までに計画通り5モールをオープンしました。

国内では、少子高齢化や人口減少等の進展、Eコマース拡大等に見られるお客さまの消費行動の変化等、事業環境がこれまでにないスピードで変化しており、商業施設の優勝劣敗が顕著になりつつあります。当社は、このような状況を逆にチャンスと捉えて積極的な増床・リニューアルを推し進め、地域No.1モールとしてのポジションを確立していきます。

また、お客さまの心身ともに健康で、豊かな生活づくりへ貢献する「ヘルス&ウエルネス」の取り組みとして、健康や文化・芸術面でさまざまな施策を実行する「ハピネスモールプロジェクト」を通じて集客力を一層強化し、競争優位性をさらに高めていきます。

都市型ファッションビル事業を展開する株式会社OPAでは10月に旗艦店となる高崎オーパ(群馬県)をオープンしました。今後、同店での取り組みをベースに、既存店リニューアルや新店オープンを推し進めていきます。

当社では、ダイバーシティ推進にも積極的に取り組んでいます。子育て支援企業に与えられる厚生労働大臣認可の「くるみんマーク」取得、女性活躍推進法に基づく2016年度「えるぼし認定」最高評価の取得、経済産業省と東京証券取引所が女性活躍に優れた上場企業を選出する「なでしこ銘柄」への指定等、社外からも高い評価をいただいています。海外では、ローカルスタッフの育成や幹部職への積極的な登用等、グローバル人材の確保に取り組んでいます。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、2016年度の年間配当金は1株当たり5円増配の27円、連結配当性向は21.5%となり、2017年度の年間配当金においても1株当たり5円増配(連結配当性向24.7%)を計画しています。何卒、変わらぬご支援ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

2017年10月

中期経営計画 5つの成長施策

1. アジアにおける成長機会の獲得
2. 新たな国内需要の発掘
3. 圧倒的な地域No.1モールへの進化
4. 都市部における成長機会の獲得
5. 成長を支えるファイナンスミックスと組織体制構築

連結業績/数値計画

| | 2016年度 (2017年2月期) | 2019年度 (2020年2月期) | 3ヶ年平均 成長率 |
|------|----------------------|----------------------|--------------|
| 営業収益 | 2,697億円 | 3,400億円 | +8.0% |
| 営業利益 | 449億円 | 600億円 | +10.1% |

新規出店数

| | | 2017年度 (2018年2月期) | 2018年度 (2019年2月期) | 2019年度 (2020年2月期) | 計 |
|-------------|------|----------------------|----------------------|----------------------|-----|
| モール | 国内 | 5 | 4 | 2 | 11 |
| | 海外 | 5 | 4 | 6 | 15 |
| | 中国 | (4) | (2) | (3) | (9) |
| | アセアン | (1) | (2) | (3) | (6) |
| 都市型ファッションビル | | 2 | 2 | 1 | 5 |
| 計 | | 12 | 10 | 9 | 31 |

活性化モール数(国内)

| | 2017年度 (2018年2月期) | 2018年度 (2019年2月期) | 2019年度 (2020年2月期) | 計 |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|----|
| 増床 | 2 | 2 | 4 | 8 |
| リニューアル | 15 | 10 | 10 | 35 |
| 計 | 17 | 12 | 14 | 43 |

2017年度中間期連結決算ハイライト(2017年3月1日~2017年8月31日)



黒字化に向け順調に推移。下期は5モールをオープン

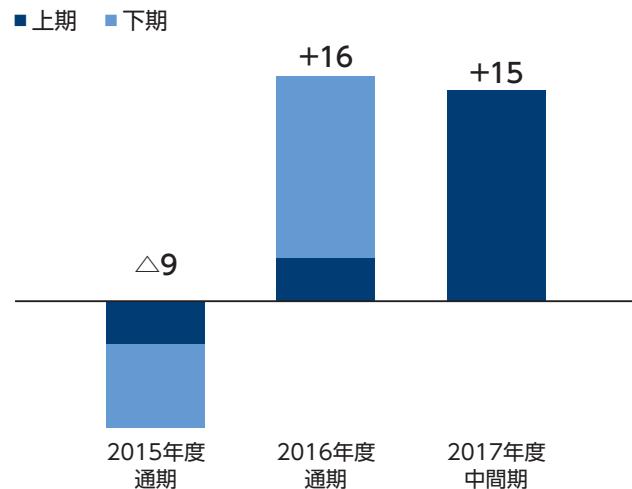
中国・アセアンでのドミナント出店を進めてきた結果、当社モールの現地でのブランド力は着実に向上しており、集客力の強化や優良テナントの誘致につながっています。下期には5モールをオープンします。

上期の概況

既存19モールのうち12モールが黒字となり、営業利益の大幅改善を達成。

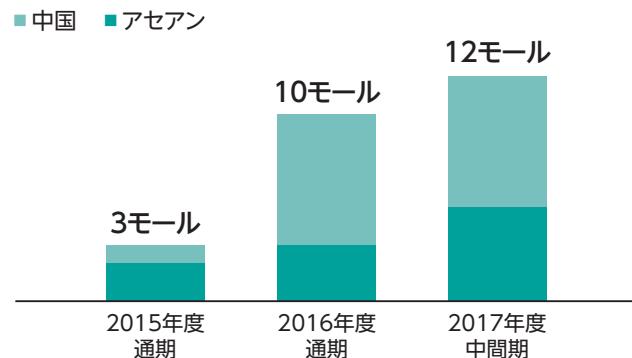
ドミナント出店によるブランド力の強化に加え、既存モールではサービスレベル向上に向けた従業員教育などにも取り組み、売上の拡大に努めました。現地でのモータリゼーションの進展や中間所得層の拡大も追い風となり、営業利益を大きく改善しました。

営業利益改善額の推移(億円)



今後の成長ドライバーである海外事業の営業利益改善額は、2016年度が通期で前期比+16億円に対し、2017年度は中間期(6ヶ月間)で+15億円の利益改善を実現しました。利益改善のスピードは加速しており、当期末の海外事業の黒字化に向けて引き続き取り組みを進めます。

黒字化※モール数の推移 ※店舗ベースの利益



既存モールの集客施策やリーシング、オペレーション等の蓄積したノウハウ活用によって、新規モールの収益力が向上し、当上期の黒字化モール数は中国7モール、アセアン5モールとなり、引き続き、モールの黒字化を進めます。

中国・アセアンのエリア出店戦略

イオンモール天津津南
(天津市津南区)
2017年度下期オープン予定



北京・天津エリア

既存 6モール
新規* 2モール

イオンモール南通星湖
(江蘇省南通市)
2017年度下期オープン予定



江蘇・浙江エリア

既存 4モール
新規 1モール

イオンモール武漢金橋
(湖北省武漢市)
2017年度下期オープン予定



湖北エリア

既存 2モール
新規 1モール

イオンモール佛山大瀝
(広東省佛山市)
2017年度下期オープン予定



広東エリア

既存 1モール
新規 2モール

ベトナム

既存 4モール
新規 1モール

イオンモール ジャカルタ
ガーデンシティ
(ジャカルタ市)
2017年9月30日オープン



インドネシア

既存 1モール
新規 3モール

カンボジア

既存 1モール
新規 1モール

*2017年度下期以降にオープン予定のモール数(公表済の数)

地域特性に合わせた新規モール開発と活性化を推進

イオンモール松本（長野県松本市） 2017年9月オープン

歴史・観光資源との調和による
地域との連携を深めたモールづくり

年間500万人の観光客が訪れる城下町松本市の中心市街地に出店するもので、松本市の景観と一体化した黒と白を基調としたデザインを施しています。地域との連携により、歴史や観光資源をモールづくりに活用するほか、松本市が掲げる「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向けて、健康をテーマにした相談会の開催や、屋内外のイベントスペースでの演奏会など、地域の人々の生活をより健康で、豊かにする取り組みを進めていきます。



高崎オーパ（群馬県高崎市） 2017年10月オープン

駅前活性化を図る行政の
街づくりと連携した店づくり

ファッションビル事業を担う株式会社OPAの新たな旗艦店として、群馬県高崎市に北関東最大級の都市型ファッションビルとしてオープン。当施設では、お客さまの賢い暮らし、洗練された暮らしを応援するため、ファッションだけでなく最新のライフスタイルを感じられるモノ・コトを提供し、「地元で素敵に暮らす喜び」を感じられる商業施設をめざします。



イオンモール甲府昭和（山梨県中巨摩郡昭和町） 2017年11月増床リニューアルオープン

地域の皆さまのあらゆるニーズを満たす“サードプレイス”へ

2017年11月に計画している増床リニューアルでは、近年ご要望の多かったトレンドファッション専門店やライフスタイル提案型の専門店の導入、大人が趣味や余暇を楽しむ「ホビー&カルチャーエリア」の新設などにより、地域の皆さまのあらゆるニーズにお応えできる“サードプレイス”へと進化します。



イオンモール新小松（石川県小松市） 2017年3月オープン



イオンモール徳島（徳島県徳島市） 2017年4月オープン



イオンモール神戸南（兵庫県神戸市） 2017年9月オープン



イオンSENRITO専門館（大阪府豊中市） 2017年4月オープン

水戸オーパ（茨城県水戸市） 2017年3月オープン

経営成績

営業収益は1,410億3千5百万円(対前年同期比106.3%)となりました。営業原価は事業規模拡大により1,044億7千2百万円(同105.1%)となったものの、営業総利益365億6千2百万円(同109.9%)となりました。

販売費及び一般管理費は、139億7千9百万円(同107.6%)となり、営業利益は225億8千2百万円(同111.4%)と増益となりました。

営業外収益は14億5千8百万円(同53.0%)、営業外費用は20億8千2百万円(同86.1%)となりました。これらの結果、経常利益は219億5千8百万円(同106.5%)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、平成28年度税制改正での法人税減税に伴う実効税率の低下等により、127億6千5百万円(同114.3%)となりました。

財政状態(資産、負債および純資産の状況)

▶ 資産の部

総資産は、前期末と比較して526億8千万円増加し、1兆654億3千9百万円となりました。これは新規モールのオープン、開発用地の取得等により、有形固定資産を955億4千7百万円取得した一方で、現金及び預金が139億3百万円、関係会社預け金が100億円、固定資産が減価償却により186億6千8百万円減少したこと等によるものです。

▶ 負債の部

負債は、前期末と比較して475億3千2百万円増加し、7,040億8千7百万円となりました。これは、専門店預り金が112億4千3百万円増加、社債が400億円純増した一方で、新規モールのオープン等に伴う設備に関する未払金等が52億9千6百万円減少したこと等によるものです。

有利子負債は、4,025億7千9百万円、ネット・デット・エクイティ・レシオは1.0倍と、当社が指標としている1倍を維持しています。

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

| | 前中間期 自2016年3月 1日 至2016年8月31日 | 当中間期 自2017年3月 1日 至2017年8月31日 |
|---|------------------------------------|------------------------------------|
| 営業収益 | 132,709 | 141,035 |
| 営業原価 | 99,440 | 104,472 |
| 営業総利益 | 33,268 | 36,562 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,987 | 13,979 |
| 営業利益 | 20,280 | 22,582 |
| 営業外収益 | 2,752 | 1,458 |
| 営業外費用 | 2,418 | 2,082 |
| 経常利益 | 20,614 | 21,958 |
| 特別利益 | 41 | 650 |
| 特別損失 | 1,602 | 3,034 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 19,053 | 19,574 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,563 | 7,176 |
| 法人税等調整額 | 153 | △271 |
| 法人税等合計 | 7,716 | 6,904 |
| 四半期純利益 | 11,336 | 12,669 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 171 | △95 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 11,165 | 12,765 |

▶ 純資産の部

純資産は、前期末と比較して51億4千7百万円増加し、3,613億5千1百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益127億6千5百万円の計上により利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が46億7百万円減少したこと等によるものです。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

| | 前 期 2017年2月28日 現在 | 当中間期 2017年8月31日 現在 |
|--------------------|-------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 110,346 | 93,126 |
| 固定資産 | 902,412 | 972,313 |
| 有形固定資産 | 762,237 | 837,755 |
| 無形固定資産 | 4,077 | 3,983 |
| 投資その他の資産 | 136,096 | 130,575 |
| 資産合計 | 1,012,758 | 1,065,439 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 212,117 | 194,180 |
| 固定負債 | 444,437 | 509,907 |
| 負債合計 | 656,555 | 704,087 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 341,930 | 351,648 |
| 資本金 | 42,256 | 42,268 |
| 資本剰余金 | 42,030 | 42,042 |
| 利益剰余金 | 257,643 | 267,338 |
| 自己株式 | △0 | △1 |
| その他の包括利益累計額 | 8,142 | 3,806 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,165 | 1,387 |
| 為替換算調整勘定 | 7,858 | 3,250 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △881 | △831 |
| 新株予約権 | 135 | 147 |
| 非支配株主持分 | 5,994 | 5,749 |
| 純資産合計 | 356,203 | 361,351 |
| 負債・純資産合計 | 1,012,758 | 1,065,439 |

連結キャッシュ・フロー
計算書(要約)

(単位:百万円)

| | 前中間期 自2016年3月 1日 至2016年8月31日 | 当中間期 自2017年3月 1日 至2017年8月31日 |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 37,969 | 41,322 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △74,494 | △104,789 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 41,467 | 39,497 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | △6,642 | △692 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △1,700 | △24,662 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 53,652 | 69,593 |
| 株式交換による現金及び 現金同等物の増加額 | 757 | — |
| 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 52,709 | 44,930 |

財政状態(キャッシュ・フローの状況)

▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は、前年同期間と比較して33億5千3百万円増加し、413億2千2百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が増加する一方で、法人税等の支払額等が減少したことによるものです。

▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は、前年同期間と比較して302億9千4百万円増加し、1,047億8千9百万円となりました。主な要因は、既存モールの土地・建物等の購入や新規モールのオープンに伴う設備代金の支払、開発用地の取得等による支出です。

▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果増加した資金は、前年同期間と比較して19億6千9百万円減少し、394億9千7百万円となりました。結果、現金及び現金同等物の当中間期末残高は、前期末に比べ246億6千2百万円減少し、449億3千万円となりました。

株主優待のお知らせ

対象株主さま

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主さまについて、実施いたします。実施対象は、1単元(100株)以上の株式を保有されている株主さまです。

| 保有株式数 | ご優待品 |
|-----------|----------------|
| 100株～499株 | 3,000円相当のご優待品 |
| 500株～999株 | 5,000円相当のご優待品 |
| 1,000株以上 | 10,000円相当のご優待品 |

詳細については、2018年6月下旬に送付予定のご優待品選択に関するご案内をご覧ください。

ご優待品

3つのコースから1つを選択していただけます。

①「イオンギフトカード」 ②「カタログギフト」

③「カーボンオフセットサービス」※

※このサービスを選択されますと、相当額分の二酸化炭素排出権が一般社団法人「日本カーボンオフセット」(<http://www.co-j.jp>)を通じて、国の償却口座に無償で移転されます。

【ご報告】

2017年2月期の実績では、27名の方よりご選択いただき、22トン分の二酸化炭素排出権を取得いたしました。



長期保有株主優待制度

下記、条件1と2の両条件を満たす株主さまに2月末日の「株主名簿」に記載のご所有株式数に応じて、下表「株主ご優待品の内容」の基準の通りイオンギフトカードを進呈します。

条件1 同一株主番号で3年以上継続ご保有 かつ

条件2 2月末日の「株主名簿」で1,000株以上ご所有

※3年以上継続保有の株主さまとは、2月末日および8月末日時点の株主名簿に、同一株主番号で、7回以上連続で記載された株主さまとします。

株主ご優待品の内容

日本全国で展開するイオンモールをはじめ、イオングループ各店でご利用いただけるイオンギフトカードを進呈。

| 2月末日時点保有株式数 | イオンギフトカード金額 |
|---------------|-------------|
| 1,000株～1,999株 | 2,000円 |
| 2,000株～2,999株 | 4,000円 |
| 3,000株～4,999株 | 6,000円 |
| 5,000株以上 | 10,000円 |

贈呈時期:毎年5月中の発送を予定

株式・会社情報

株式の状況

(2017年8月31日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 320,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 227,427,779株 |
| 株主数 | 35,429名 |

大株主(上位10名)

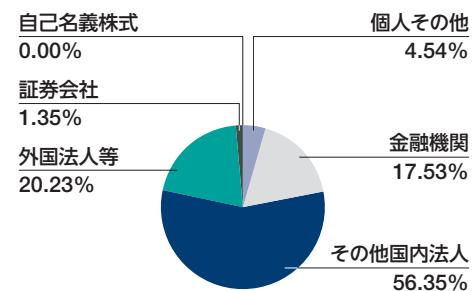
(2017年8月31日現在)

| | 当社への出資状況 | |
|---|----------|---------|
| | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
| イオン株式会社 | 125,515 | 55.18 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 8,551 | 3.76 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 5,874 | 2.58 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,893 | 2.15 |
| ピーエヌワイエムエスエーエヌブイ ノン トリーティー アカウント | 4,758 | 2.09 |
| ジェーピー モルガン チェース バンク 385174 | 4,221 | 1.85 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 2,348 | 1.03 |
| ステート ストリート バンク ウェスト ペンション ファンド クライアント エグゼンプト 505233 | 2,335 | 1.02 |
| ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234 | 2,234 | 0.98 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1) | 1,794 | 0.78 |

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てています。
2. 発行済株式総数に対する持株数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

所有者別株式分布状況

(2017年8月31日現在)



会社概要

(2017年8月31日現在)

| | |
|-------|------------------------|
| 社名 | イオンモール株式会社 |
| 英文社名 | AEON MALL CO., LTD. |
| 設立 | 1911(明治44)年11月 |
| 資本金 | 422億6千8百万円 |
| 本社所在地 | 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1 |
| 従業員数 | 3,023名 |
| 店舗数 | 190店(海外、都市型ファッションビル含む) |

取締役・監査役

(2017年8月31日現在)

| | | | |
|---------|-------|-------|--------------|
| 取締役会長 | 村上 教行 | 取締役 | 佐藤 久之 |
| 代表取締役社長 | 吉田 昭夫 | 取締役 | 横山 宏 |
| 専務取締役 | 岩本 馨 | 取締役 | 平 真美※1、※3 |
| 専務取締役 | 千葉 清一 | 取締役 | 河端 政夫 ※1、※3 |
| 専務取締役 | 梅田 義晴 | 常勤監査役 | 鈴木 順一 ※2 |
| 常務取締役 | 三嶋 章男 | 監査役 | 市毛 由美子 ※2、※3 |
| 取締役相談役 | 岡田 元也 | 監査役 | 村松 高男 ※2、※3 |
| 取締役 | 藤木 光広 | 監査役 | 渡部 まさ |
| 取締役 | 玉井 貢 | | |

※1 社外取締役 ※2 社外監査役 ※3 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

株式等に関するマイナンバーお届けのご案内

2016年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主さまのマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届けください。

マイナンバーの取扱いについて

マイナンバーの取扱いは、法律により厳格な保護措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。

マイナンバーの提供について

2016年1月以降、新たに証券会社とお取引をされる株主さまは、マイナンバーを証券会社に提供する必要があります。2015年12月以前より証券会社とお取引をされている株主さまも、2018年末までにはマイナンバーの提供が必要です。

株主メモ

| | |
|---------|---|
| 決算期 | 2月末日 |
| 基準日 | 定時株主総会基準日 2月末日 期末配当基準日 2月末日 第2四半期末配当基準日 8月末日 |
| 定時株主総会 | 5月末日までに開催 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 電話 0120-288-324(フリーダイヤル) |
| お問い合わせ先 | イオンモール株式会社 管理本部 総務部 〒261-8539 千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1 電話 043-212-6463 |
| 公告方法 | ホームページ http://www.aeonmall.com 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |

未払配当金のお支払い、支払明細の発行

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

住所変更、単元未満株式の買取請求、口座振替、配当金受取方法の指定等

【証券会社に口座をお持ちの株主さま】

お取引の証券会社にお問い合わせください。

【特別口座の株主さま(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)】

みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

インドネシア2号店となる エンターテインメントモールをオープン。

2017年9月30日、インドネシア2号店イオンモール ジャカルタ ガーデンシティをグランドオープンしました。当モールは、今後総合的開発が計画されている「Jakarta Garden City (JGC)」内に位置し、227の専門店と各種アミューズメント施設を備えた最新型のエンターテインメントモールとしてオープンしました。地域の新たなランドマークとして、国内No.1の大きさとゴンドラ数を誇る大観覧車を屋上に設置するほか、スケートリンク、シネマ、体験型キッズアミューズメントと100店舗を超える飲食店舗をご用意し、ショッピングだけにとどまらない新たな体験をご提供していきます。



国際規格の
アイススケートリンク



モールコンセプト

当モールのコンセプトは「Smile Of Life」。嬉しい、楽しい、美味しいといった体験を提供することで、お客さまの生活のなかに新しい“笑顔”を増やすモールをめざします。

